

# やってみよう!! ワークシート



新聞には毎日、たくさんの記事や写真、広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを使って自宅学習などに活用してもらっています。今回は、兵庫県立佐用高校（佐用町）の生徒たちが世話をしてきた牛が、繁殖用の雌牛として選考会で最優秀賞に輝いたという話です。

県畜産共進会の農大・農高枠で最優秀賞に選ばれた「つつじ」と、(右から)梶山果梨さん、山本良好夢さん、清水菜央さん、橋本真衣さん＝佐用町佐用

## 佐用高「つつじ」最優秀賞



### 学校で生まれ育った繁殖用雌牛

選考会の学生枠には、淡路や但馬の家畜市場で購入し、学校で世話をした牛が出品されることが多い。しかし、「立派な母牛から生まれた喜びをかみしめている。

但馬牛の発育などを競う「県畜産共進会」の農大・農高枠選考会が加西市であり、繁殖用の雌牛を出品する「種牛」部門で、佐用高校の「つつじ」が最優秀賞に選ばれた。つつじは同校で生まれ育ち、母牛やその母牛も同校生まれという真正正銘の「佐用の牛」。同校で生まれた牛が最優秀賞に選ばれるのは初めてで、世話を続けてきた生徒らは喜びをかみしめている。

### 県畜産共進会の農大・農高枠

「種牛は、横から見た時に長方形に見える体形が美しいとされる。理想の体形に近づけるため、まずは餌をしっかりと与えなければならなかったが、「すぐくグルメ」なつつじは通常の餌を好まなかった。

試行錯誤の結果、新鮮な牧草を細かく刻むとよく食べると判明。ところが、ようやくつつじに慣れてきた7月末、世話を担当する農業科学科2年の梶山果梨さん(16)が足をけがし、8月半ばまで入院することになってしまった。その間、1年生の橋本真衣さん(16)、清水菜央さん(16)、山本良好夢さん(16)が懸命に世話をした。

お尻の脂肪を取るためにひたすらマッサージしたり、目鼻立ちがくつきり見えるようにバリカンで毛を刈ったり。皆で工夫を凝らして世話をしたつつじは、体高124センチ、体重360キロまで育ち、9月の選考会では満場一致で最優秀賞を獲得した。

つつじの血統はさかのぼると昭和から佐用高校で繁殖されてきたといい、「佐用産の牛が認められたことで、これまでの卒業生の思いも実った気がする」と梶山さんは話している。(勝浦美香)

10月14日の朝刊にのった記事

答えは11月6日の「週刊まなびー」にのるよ。



①県畜産共進会はどんな目的で開かれていますか

②つつじが「佐用の牛」と呼ばれるのはなぜですか

③グルメのつつじはどんな食事が好みですか

④つつじの魅力をアップするため生徒たちはどんなことに努めましたか

⑤兵庫県は和牛の一大産地です。どんなブランド名があるか、「兵庫県」「ブランド牛」でキーワード検索してみましょう

もっとワークシートをやってみたいと思った人は、電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーでワークシートを検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えは、メール(kobe-nie@kobe-np.co.jp)か、はがき(〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係)で、名前と学年、または年齢を添えて11月5日必着で送ってね。正解者の中から、抽選で毎月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

23日週刊まなびー

ワークシートの  
解答例

- ①鉄道に乗って旅をすること
- ②日常から非日常へ連れて行ってくれること
- ③【人間】の【血管】のようなもの▽【血液】が行き渡るように、列車が【都市】と【地方】を結んで【つながり】が生まれる
- ④地域の交通がどうあるべきなのか、住民や自治体、鉄道会社、国がしっかりと議論してほしい
- ⑤福島県と新潟県、2022年10月1日